

事務事業名		舞台芸術鑑賞事業		会計	一般会計					
課等名		文化会館	係等名	事業係	事業種別	政策	開始	2	終了	
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり							
	施策	27	文化芸術の振興							
目的	対象(誰・何を)	飯田市民				指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	①多様で質の高い舞台芸術を鑑賞できるようにする ②実行委員となり主体的に事業を企画立案実施できるようにする				対象指標	飯田市の人口(人) (H24.10.1推計人口)		103947	
	向上させたい上位施策の成果指標	文化芸術活動をほとんど行っていない人の割合(%・減らす)								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	①アンケートで、また来たいと答えた人の割合(%)(また来たいと答えた人の数/アンケート回答数)			3.39	86	85	87		
	成果指標	②実行委員数			107	95	95	117		
定性目標										
事業概要	<p>舞台芸術鑑賞事業は、舞台芸術鑑賞事業実行委員会が、趣旨と事業内容選定基準のもとに、市民のニーズや受益者負担の程度を考慮して実施事業を選定している。 また実施事業毎に実行委員を公募し、市民が主体的に企画立案運営している。</p> <p>【趣旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が心豊かに暮らせる一助となるための、優れた舞台芸術鑑賞事業を実施する。 ・各舞台芸術鑑賞に実行委員会体制を設け、多くの市民が企画・運営に参画することで、地域住民自らが文化活動を行えるようにする。 <p>【選定基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 提案・紹介型…地域の伝統文化を知る機会の提供や、地元出身のプロアーティストの紹介等、ぜひ市民に鑑賞してもらいたいと思う事業、紹介したい事業 2 ニーズ対応型…時代にマッチしたタイムリーな事業、飯田に居ながらにしてメジャーなものに触れられる機会の提供 3 若者対象型…心に残るアーティストを招聘することにより、刺激を与え故郷への誇りを持つ。また、実行委員として若者たちが一丸となり生き生きと活動することにより、充実感、達成感を与える。 4 普及・育成型…普段入場制限のある未就学児を対象とした事業、市民参加型の事業、他地域の団体との交流・交歓を通して、地域で活 									
	24年度事業内容	<p>事業内容</p> <p>1 舞台芸術鑑賞事業 舞台芸術鑑賞事業実行委員会へ負担金を支出 (1)おた芸術学校付属オーケストラ「ジュネス」・ 下伊那ジュニアバンド親善交流演奏会 8月26日 飯田文化会館ホール (2)小さい子どものための事業 7月19日 飯田人形劇場 (vol.22) 9月20日 飯田人形劇場 (vol.23) 11月29日 飯田人形劇場 (vol.24) 3月2日 飯田人形劇場 (vol.25) (3)コンサートア・ラ・カルト 5月27日 フレッシュコンサート 飯田人形劇場 9月17日 秋の彩コンサート ホテル ニューシルクロビー 12月16日 クリスマスコンサート 飯田人形劇場 (4)SCANDAL HALL TOUR 2012 飯田公演 10月24日 飯田文化会館ホール</p>				<p>名称</p> <p>①鑑賞者数・参加者数 ②実行委員数 ③アンケート件数</p>		<p>活動指標</p> <p>1 (1) ①323人②16人 ③234件 (2) ①937人②14人 ③281件 (3) ①410人②11人 ③254件 (4) ①818人②人③361件 2 (1) ア. ①583人②22人</p>		
事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①	200	4,500	3,600	4,500						
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源	200	4,500	3,600	4,500						
人件費計(千円)②	7,690		7,690							
正規職員所要時間	2,000		2,000							
臨時職員所要時間	500		500							
総事業費①+②	7,890	4,500	11,290	4,500						
事業内容・目標達成状況の振り返り	幅広い年齢層に対して、多様な舞台芸術を提供することができた。また、多くの市民に舞台芸術を身近に感じていただけた。									
改革改善の考え方	①問題点	事業の選定基準に立ち返りながら、より広い視野で事業の充実を図る必要がある。								
	②改革提案	より多くの市民が企画段階から文化活動に携われるような仕組みを検討する。								